Panasonic®

取扱説明書　基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-AX2シリーズ

（Windows 8）

この冊子は

『基本ガイド』

です。

初めにお読みください

本書は、お買い上げ後、初めてWindowsの操作を始めるまでの手順やリカバリーディスクの作成手順、修理を依頼する際のアフターサービスについて説明します。

- 付属品の確認
- Windowsのセットアップ
- 別売品
- 保証とアフターサービス

など

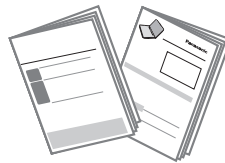
本機には、各種『取扱説明書』や、パソコンの画面で見る『操作マニュアル』などがあります。目的に応じてご利用ください。

『取扱説明書 活用ガイド』

- 使用上のご注意事項
- 詳しい操作
- 各種設定
- 再インストール

など

『Windows® 8入門ガイド』

『取扱説明書
無線 LAN 接続ガイド』

- 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき
- セキュリティ機能について知りたいとき
- 困ったとき

表記について

● は画面で見るマニュアルのマークです。
●本書では、指定がない限り次のOSを「Windows」または「Windows 8」と表記します。
・「Windows 8 Pro 64ビット（日本語版）」

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（3～7ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

もくじ

最初のステップ

確認する

本機はハードディスクドライブの代わりにフラッシュメモリードライブを使用しています。
本書ではフラッシュメモリードライブを「SSD」と表現しています。

※本ページ以降のイラストは説明用イラストであり、詳細な部分は実際と異なる場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

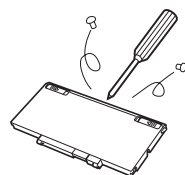
●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

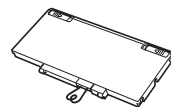
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

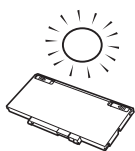
火中に投入したり加熱したりしない

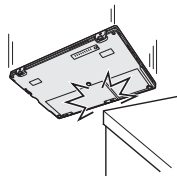
発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、分解や改造をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

発熱・発火・破裂の原因になります。

●ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

落下させたり強い圧力を加えるなどの衝撃を与えない

発熱、発火、破裂の原因になります。

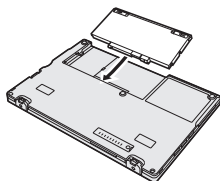
●本体装着状態でも単体でも、バッテリーパックに衝撃が加わった場合や外観に変形や破損が見られる場合は、すぐに使用をやめてください。

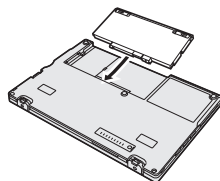
指定の方法で充電する

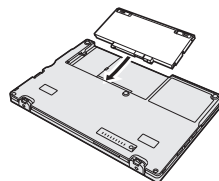
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックに関する注意

危険

劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-AX2シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-AX2シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

異常・故障時には直ちに使用をやめる

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

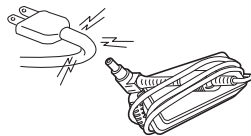
- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

長時間直接触れて使用しない

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れて使用しないでください。また、お子様が通風孔（排気）付近に近寄らないよう注意してください。特に本機の底面、通風孔などに長時間触れ続けますと不快感や低温やけど※1の原因になります。

長時間通風孔（排気）からの温風にあたらない

低温やけど※1の原因になります。
また、通風孔（排気）を手などでふさぐと内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

分解や改造をしない

感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る※2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る※2

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る※2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用する場合は、無線切り替えスイッチを「OFF」にしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

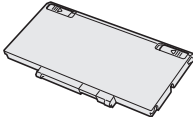
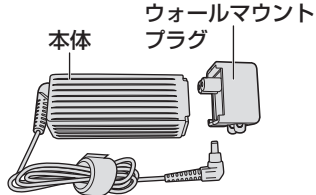
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

高温の場所に長時間放置しない

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

⚠注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

通風孔（排気）をふさがない

通風孔（排気）は内部の熱を外部に逃がすためのものです。布などでくるんだり、布団や毛布などの上で使用したり、手や物で通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や損傷の原因になることがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

1 付属品の確認

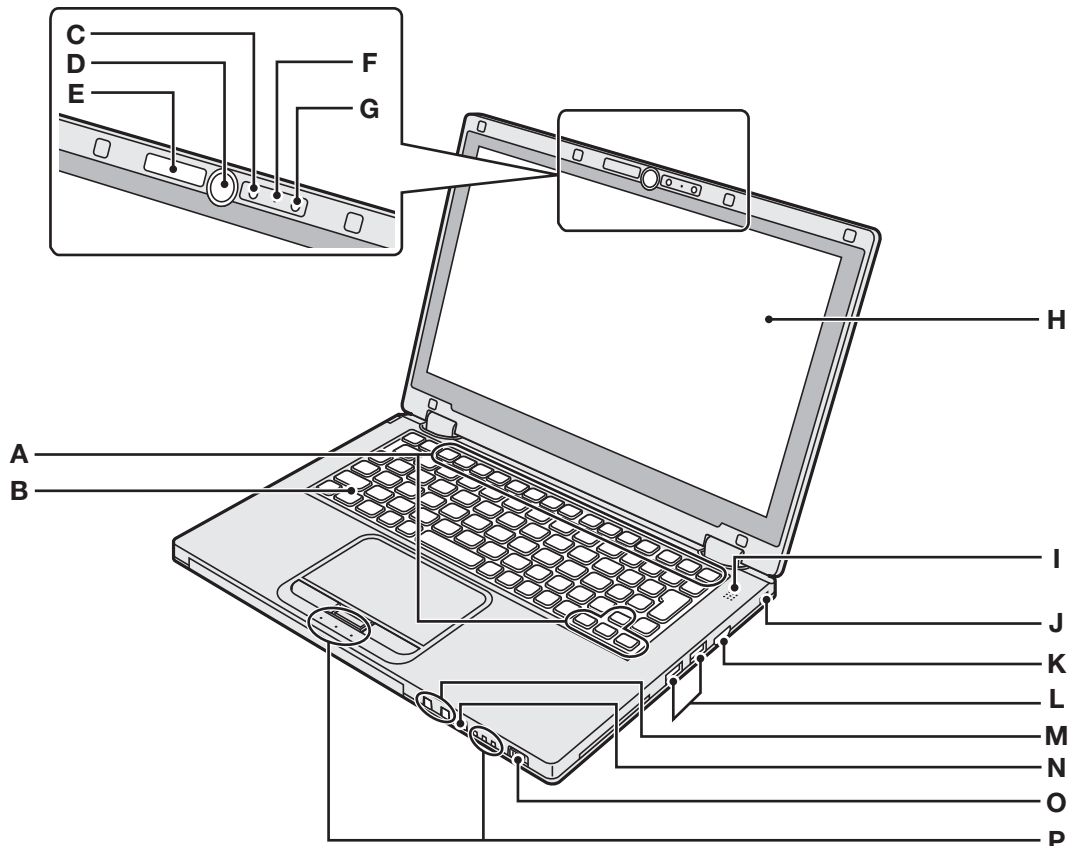
付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合は、ご相談窓口にご連絡ください（➡41ページ、裏表紙）。

バッテリーパック・・・1個	ACアダプター・・・・1個	その他
品番：CF-VZSU81JS （シルバー） CF-VZSU85JS （ブラック） パソコン本体と同色のバッテリーパックが付属しています※1	ACアダプター 品番：CF-AA62J2C • 本体 品番：CF-AA62J2CM1 • ウォールマウントプラグ※2 品番：K2DAYYY00005	• 電源コード※3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1本 • 保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1枚 • 取扱説明書 - 基本ガイド（本書） ・・・・・・・・・・・・ 1冊 - 活用ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1冊 - 無線 LAN接続ガイド ・・・・・・・・・・ 1冊 • Windows® 8入門ガイド・・・・・・・・・・ 1冊 • 修理依頼書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1枚 ワイヤレスWAN搭載モデルのみ • 取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1枚 （ドコモUIMカードは付属していません。回線の申し込みが完了すると、NTTドコモからドコモUIMカードが届きます。）
専用布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1枚		
使用方法は『取扱説明書 活用ガイド』「使用上のお願い」の「お手入れ」をご覧ください。		

※1 バッテリーパックの品番は、バッテリーパック底面に記載されていますのでご確認ください。
※2 ウォールマウントプラグの使い方は「ACアダプターの使い方」（➡15ページ）をご覧ください。
※3 付属の電源コードは、CF-AA62J2C以外の製品などに転用しないでください。

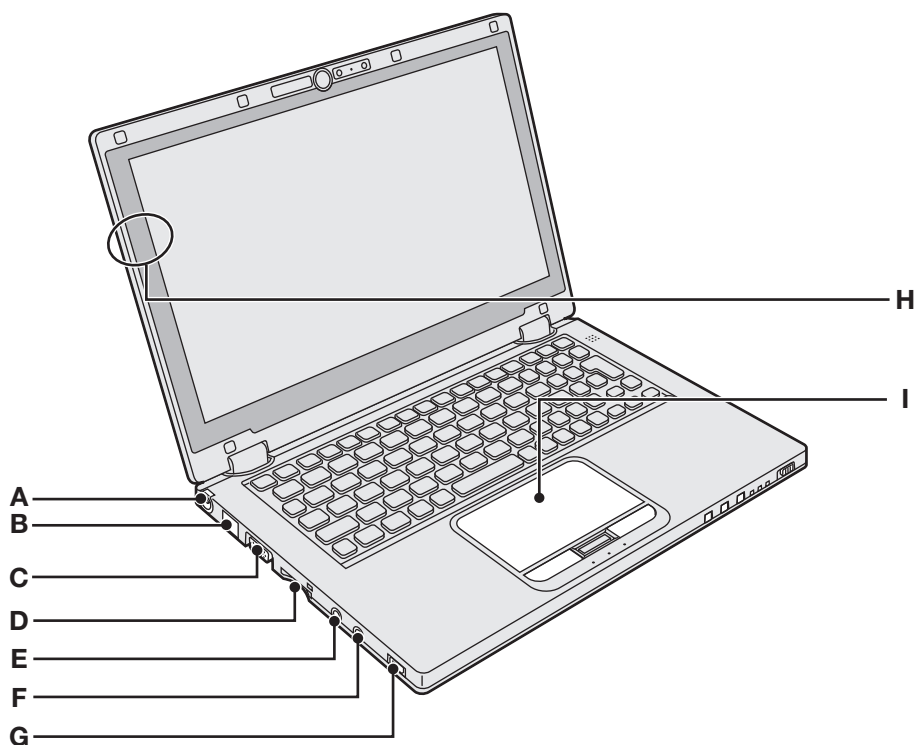
重 要

● リカバリーディスク（リカバリー DVD）は付属していません。
- 本機のSSDには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、通常はこのリカバリーデータを使って、SSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、21ページをご覧ください。

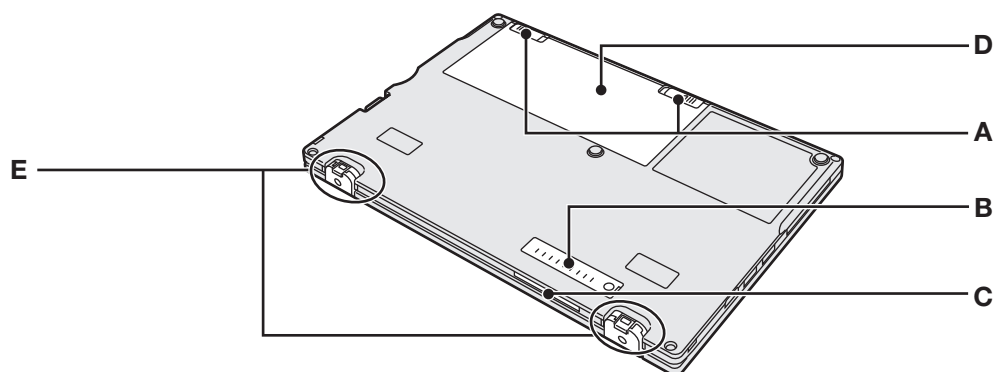
2 各部の名称と働き

	名　称	働き / 参照先
A	ファンクションキー	Fn と組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡『取扱説明書 活用ガイド』の「Fnキーを使う」
B	キーボード	—
C	カメラ	スタート画面からCamera for Panasonic PCを利用して、動画や静止画を撮影します。 ➡ 『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「カメラの使い方」
D	Windowsボタン	このボタンを押せばスタート画面に戻ります。タブレットモードでも操作できます。
E	カメラ動作状態表示ランプ	カメラが動作状態のとき点灯します。
F	マイク	音声を入力します。
G	明るさセンサー	周囲の明るさを検知して画面の明るさなどを自動調整します。 ➡『取扱説明書 活用ガイド』の「ディスプレイモードを変える」
H	ディスプレイ（内部LCD）	明るさ調整 : Fn + F1（暗くする）/ Fn + F2（明るくする） ➡『取扱説明書 活用ガイド』「画面の明るさを調整する」
I	スピーカー	• 音量調整 : Fn + F5（小さくする）/ Fn + F6（大きくする） （Mの「－」「＋」ボタンでも操作できます➡ 10ページ） • スピーカーのオン / オフ : Fn + F4
J	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

2 各部の名称と働き

名　称		働き / 参照先
K	HDMI出力端子 HDMI	HDMI対応ディスプレイ（テレビや液晶ディスプレイ）を接続します。 ➡ 📖『操作マニュアル』「周辺機器」の「HDMI対応ディスプレイを接続する」
L※	USB3.0ポート SS	USB機器を接続します。USB1.1/2.0/3.0に対応しています。 ➡ 📖『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を接続する」
	USB3.0ポート（常時給電機能付き） SS CHARGE	上記の働きに加え、設定を行うとパソコン本体の電源が入っていない状態でもUSB機器に電源を供給できます。 ➡ 📖『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を充電する」
M	音量ボタン	音量を調整します：－（小さくする）/＋（大きくする）
N	ローテーションロックボタン	タブレットモードのとき、画面の自動回転をロックします。 ➡『取扱説明書 活用ガイド』の「ディスプレイモードを変える」
O	電源スイッチ/電源状態表示ランプ	スイッチをスライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源状態表示ランプ ➡ 12ページ/電源スイッチ ➡『取扱説明書 活用ガイド』の「電源を入れる/切る」）
P	状態表示ランプ A HOLD 1 1 2	➡ 12ページ

※ USBメモリーなどの小物を、乳幼児が誤って飲み込むことのないよう、置き場所にご注意ください。

名　称		働き / 参照先
A	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	LANコネクター	LANケーブルを接続します。 ➡ 📖『操作マニュアル』「インターネット」の「ブロードバンドで接続する」
C	外部ディスプレイコネクター	アナログディスプレイのケーブルを接続します。 ➡ 📖『操作マニュアル』「周辺機器」の「アナログディスプレイを使う」

名　称		働き/参照先
D※	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード専用です。 ➡『操作マニュアル』「周辺機器」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」
E	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。
F	マイク入力端子	コンデンサー型ステレオマイクロホンを使用できます。 コンデンサー型以外のマイクロホンを使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 • 2極プラグのモノラルマイクをお使いになる場合： マイクを接続し、（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[サウンド]-[録音]-[マイク]-[プロパティ]-[拡張]をクリックします。[モノマイク]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックしてください。 • 上記設定を行った後、ステレオマイクを使ってステレオで録音する場合、上記手順で、[モノマイク]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックして元に戻してください。
G	無線切り替えスイッチ WIRELESS	無線LANなど本機に搭載されているすべての無線機器の電源のオン（左側）/オフ（右側）を切り替えます。 ➡『操作マニュアル』「無線機能」
H	無線用アンテナ（内蔵）	無線通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡『操作マニュアル』「無線機能」
I	タッチパッド	➡16ページ ➡『操作マニュアル』「ポインティングデバイス/キーボード」

※ SDメモリーカードを、乳幼児が誤って飲み込むことのないよう、置き場所にご注意ください。

名　称		働き/参照先
A	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。取り外すときは、ロック解除の方向にスライドしてロックを解除します。
B	ダストカバー	➡『取扱説明書 活用ガイド』「使用上のお願い」の「お手入れ」
C	通風孔（排気）	内部の熱を逃がします。
D	バッテリーパック	➡『操作マニュアル』「バッテリー」 バッテリーパックの取り付け/取り外しの方法は、「バッテリーパックを取り付ける」（➡13ページ）をご覧ください。
E	フットラバー	使用状況に合わせて、先端部を起こしたり畳んだりできます。 （タブレットモードでは使用しないでください。そのままラップトップモードに戻すと、フットラバーが破損します。）

2 各部の名称と働き

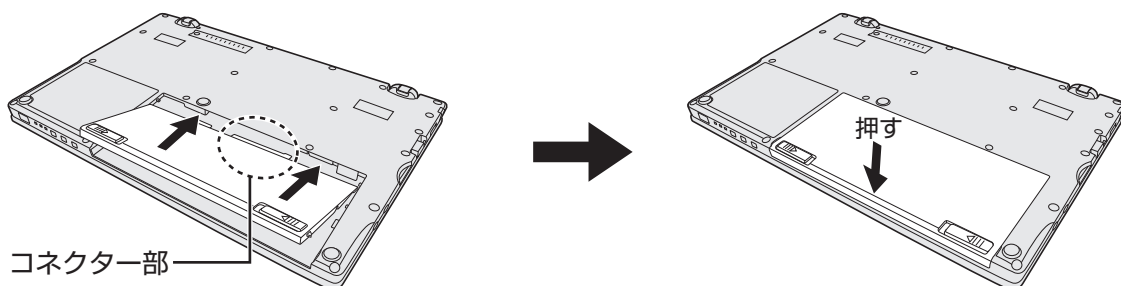
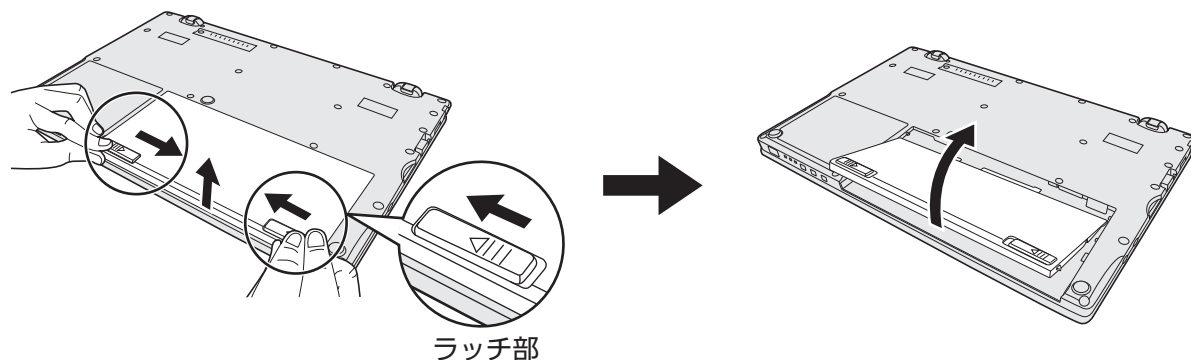
＜状態表示ランプ＞

名　称	状態 / 参照先
電源状態表示ランプ	• 消灯：電源オフまたは休止状態 • 点灯：電源オン • 点滅：スリープ状態 工場出荷時の設定では、内部 LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[LED 輝度] を [減光] に設定すると常に暗くすることができます。 スリープ状態または休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
バッテリー状態表示ランプ　1 2 1 はバッテリーパック、2 は内蔵バッテリーの表示ランプです。	• 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 • オレンジ色点灯 / 明滅：充電中 • 緑色点灯：充電完了 • 赤色点灯：残量約9%以下 • 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリー状態表示ランプが点滅している」（➡『取扱説明書 活用ガイド』の「バッテリーのQ&A」）をご覧ください。 バッテリーが満充電の場合、本機が動作していないとき（電源オフ、休止状態のとき）はACアダプターからの電力供給を停止して消費電力を抑制するモードに入り、ランプは消灯します。（➡『取扱説明書 活用ガイド』の「ACアダプター / その他」）
Caps Lock ランプ（キャップスロック）	Shift を押しながら Caps Lock を押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。解除するには、もう一度 Shift を押しながら Caps Lock を押します。 • 点灯：大文字 • 消灯：小文字
NumLock ランプ（ナムロック / テンキーモード）	NumLk を押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度 NumLk を押します（ランプ消灯）。 テンキーモード 7 8 9 − / 4 5 6 ↵ / 1 2 3 + * / 0 . / ↵ の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
SSDアクセスランプ	SSD（フラッシュメモリードライブ）へのアクセス時に点灯します。
HOLDランプ　HOLD	• 点灯：HOLDモード有効 タブレットモードでは常に有効です。HOLDモード設定ユーティリティの設定にかかわらずキーボードとタッチパッドは使えません。 ラップトップモードでは、HOLDモード設定ユーティリティで設定したキーボードやタッチパッドは使えません。解除するにはHOLDボタンを押してください。 • 消灯：HOLDモード無効 キーボードとタッチパッドが使用できます。
SDメモリーカード状態表示ランプ	SD/SDHC/SDXCメモリーカードへのアクセス時に点灯します。

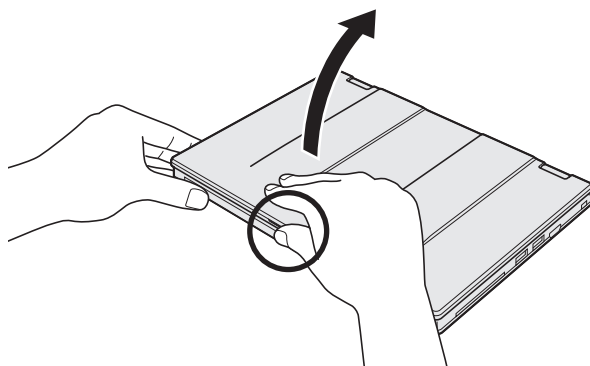
3 バッテリーパックを取り付ける

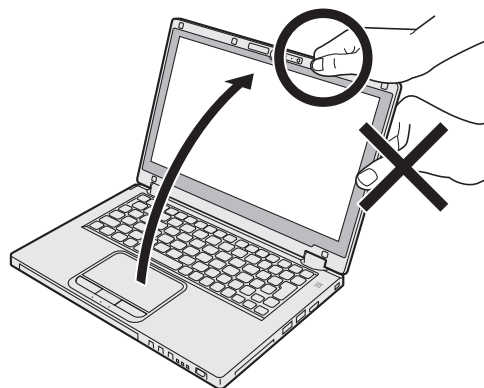
重要

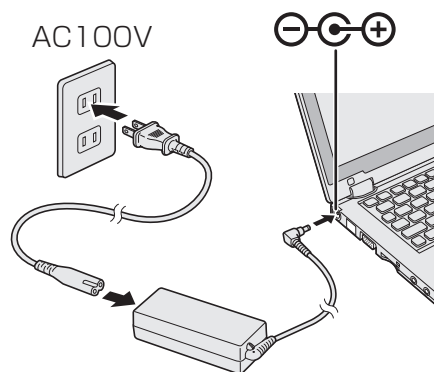
- 左右のラッチが正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないでください。
  汚れ、損傷などで接触が悪くなると、充電が正しく行われなかったり、本機が正しく動作しなかったりする場合があります。

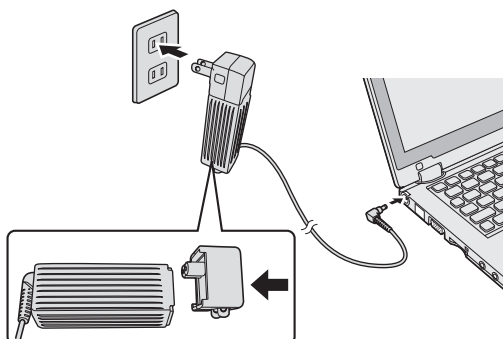
- **バッテリーパックの取り付け方**
  本体を裏返し、バッテリーパックを矢印の方向にスライドしてコネクター部を挿入し、カチンと音がするまで上から押して取り付ける。

- **バッテリーパックの取り外し方**
  左右のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で浮かせて取り外す。

4 電源を入れる

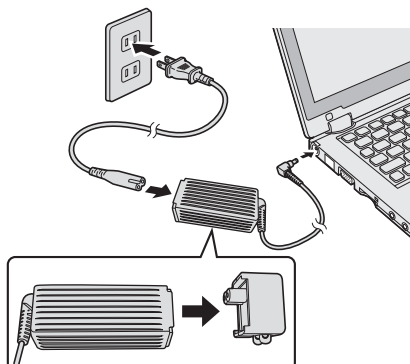
1 ディスプレイを開く

パソコンの側面に手を添え、〇印の部分を持ってディスプレイを開く。

重要

- ディスプレイに必要以上の力を加えないでください。
- ディスプレイを開閉する際は、右図の〇印の部分（キャビネット部）をお持ちください。
  液晶部分の端を持って開閉すると、液晶が破損する場合があります。
- ディスプレイを開くときにパソコンが浮く場合は、側面などに手を添えて開いてください。

2 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。

ACアダプターの使い方

直接取り付ける場合

ウォールマウントプラグ
を取り付ける

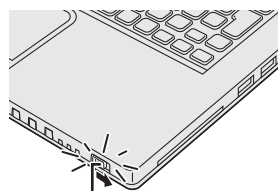
電源コードで延長する場合

ウォールマウントプラグ
を取り外す

重 要

- 本書で説明しているWindowsのセットアップが完了するまで、ACアダプターは抜かないでください。
- バッテリーパックとAC アダプター以外の周辺機器は接続しないでください。
- 指定以外のACアダプターを接続すると、画面に「エラー検出のお知らせ」が表示されます。必ず指定のAC アダプターをご使用ください。

3 電源を入れる

電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプが点灯したら手を離します。

- 電源スイッチを４秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

電源スイッチ /
電源状態表示ランプ⏻

5 Windowsをセットアップする 所要時間：約20分

セットアップの前に

Windowsを使用できるようになるまで 、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。

● Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。

タッチパッドの基本操作

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。

Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、タッチパッドの操作面と左ボタンを使います。

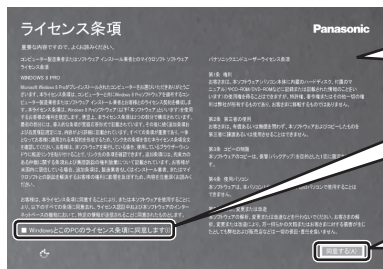
機能	操作
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック／右クリック	タップ　または　クリック　右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	または 1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。 ボタンを押しながら指を移動させる。
スクロールする	または 右端で上下にスライドする。 下部で左右にスライドする。 横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。 ➡ 『操作マニュアル』「ポインティングデバイス／キーボード」

重 要

● 操作面にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
● 油などでタッチパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。

Windows 8のセットアップ

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

1 設定を変更せずに[次へ]をクリック。

2 ライセンス条項をよく読む。

3 クリックしてチェックマークを付ける。

4 [同意する]をクリック。

5 項目をキーボードで入力する。

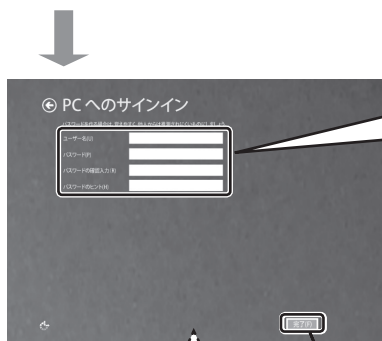
PC名は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に本機を識別するための名前です。またこの画面でお好みの背景色が設定できます。設定は後から変更できます。

6 [次へ]をクリック。

この画面の設定は後で変更可能

「ワイヤレス」の画面では[後でワイヤレスネットワークに接続する]をクリック。

8 [簡単設定を使う]をクリックする。

Windowsの自動更新が[有効]になり、インターネット接続時にWindowsの更新プログラムが自動的にインストールされます。
[自分で設定する]を選択する場合は、[PCを保護し、最新の状態に保つ]をクリックし、内容をよくお読みください。

この画面の設定は後で変更可能

9 ユーザー名をキーボードで入力する。

ユーザー名は自由に入力してください。ただし、@、&、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9、全角文字(例えば、漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数など)、半角スペースは使用しないでください。
特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもサインイン画面でパスワードの入力が求められます。空白でサインインしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、サインインできなくなります。サインインできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。再インストールの方法については、付属の『取扱説明書 活用ガイド』をご覧ください。

10 [完了]をクリック。

「こんにちは」のメッセージが表示された後に操作説明の画面が表示され、各種設定が行われた後、Windowsが起動します。

- 設定が完了したら、Windowsが自動的に再起動するまで、画面などを操作せずにそのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

11 リカバリーディスクの作成を希望される場合は、Windowsが起動したら、リカバリーディスクを作成する。(➡21ページ)

メモ

- セキュリティ対策として、ウイルス対策ソフト(マカフィー・PCセキュリティセンターなど)のご利用をお勧めします。詳しくは、『操作マニュアル』「セキュリティ」の「ウイルスの感染を防ぐ」をご覧ください。
- インターネットの設定については、『操作マニュアル』「インターネット」をご覧ください。

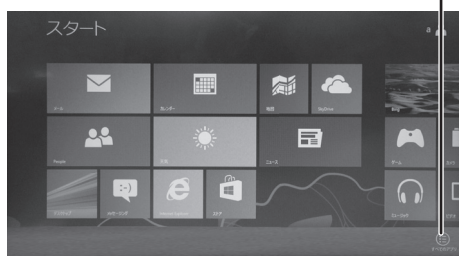
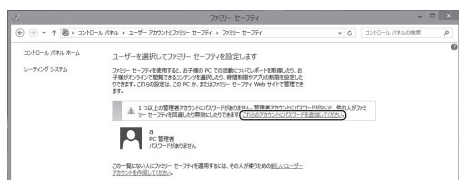
Windows 8の設定を変更する

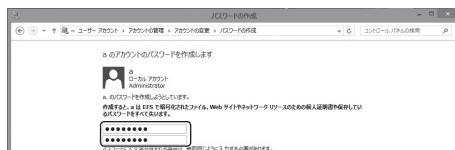
Windowsのセットアップ時にパスワードを設定し忘れた場合や、自動更新の設定を変更したい場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

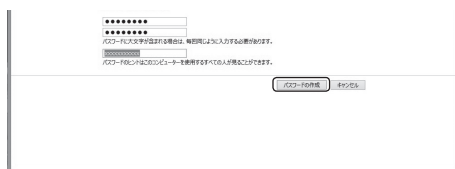
●パスワードを設定する

次の手順で設定してください。

1. (スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック) - [コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウントとファミリーセーフティ]をクリックする。

すべてのアプリ

2. [ファミリーセーフティの設定]をクリックする。
3. [これらのアカウントにパスワードを追加してください]をクリックする。

4. 設定したいユーザーをクリックし、[パスワードの作成]をクリックする。

5. 画面に従ってパスワードをキーボードで入力する。
   パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。

6. パスワードを忘れたときのために、自分だけにわかる、パスワードを思い出すためのヒントを入力する。

7. [パスワードの作成](または[パスワードの変更])をクリックする。

8. × をクリックし、ウィンドウを閉じる。

パスワードの設定はこれで完了です。

メモ

- ●Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- ●設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにサインインできなくなります。

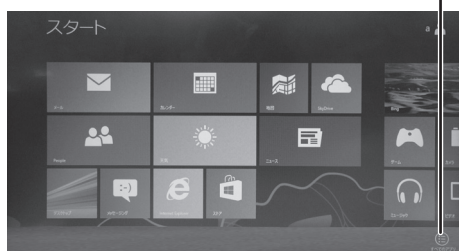
5 Windowsをセットアップする

●自動更新を設定する

「Windows 8のセットアップ」の手順❽
（➡18ページ）で[自分で設定する]を選択した後で設定を変更したい場合などに行ってください。

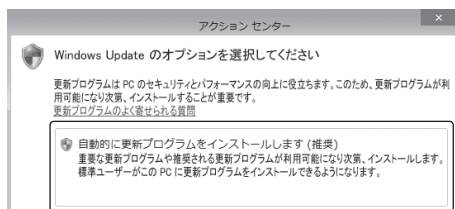
自動更新を「有効」にしておくと、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム（セキュリティの更新など）が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。

❶（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]をクリックし、[システムとセキュリティ]-[アクションセンター]をクリックする。

すべてのアプリ

❷ [Windows Update]の[設定の変更]をクリックする。

[自動更新]がすでに「有効」になっている場合は、[Windows Update]の項目は表示されません。

❸ [自動的に更新プログラムをインストールします]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

手順❷の画面に戻ります。

[Windows Update]の項目が表示されていないことを確認してください。

❹ をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

自動更新の設定はこれで完了です。

メモ

- ●自動更新が「有効」になっているときに設定を変更するには、（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[自動更新の有効化または無効化]をクリックしてください。
- ●SSDの寿命を延ばすには、SSDへの書き込み回数を減らすことが有効な手段になります。Windows 8では、SSDが搭載されていることを認識し、自動デフラグを停止します。設定などを行う必要はありません。

6 リカバリーディスクを作成する

所要時間：約１時間
（DVD-R ８倍速で作成した場合）

リカバリーディスクについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。
本機のSSDには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、この領域のデータを使ってSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「リカバリーディスクを作成する」（➡22ページ）の手順で作成することができます。

メモ

- リカバリーディスクを使って再インストールするよりも、SSDのデータを使った方が、短い時間で再インストールすることができます。

- **外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。詳しくは、「リカバリーディスク作成の前に」をご覧ください。（➡22ページ）**

メモ

- リカバリーディスク作成後でもSSD内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすることができます。
- SSDのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、SSDの一部（先頭部分）が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。
  リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。

使用できるディスクの種類と必要枚数

- **使用できるディスクの種類は次の表をご覧ください。**
  「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。
  必ず未使用のディスクを準備してください。

使用できるディスクの種類
DVD-Rまたは+R（１層） DVD-R DLまたは+R DL（２層）

- **必要枚数は、「リカバリーディスクを作成する」の手順❻の画面に表示されます。画面に表示された枚数を準備してください。**
- **動作確認済み（推奨）のディスクについて**
  外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
  推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
- USBメモリーにもリカバリーを作成できます。必要なUSBメモリー容量については、「リカバリーディスクを作成する」の手順6（➡23ページ）の画面で確認してください。
  作成したメモリーはリカバリー専用として大切に保管してください。

6 リカバリーディスクを作成する

リカバリーディスク作成の前に

次の点を確認してください。

- LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
- 自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、無線機能をオフにしてください。
  無線切り替えスイッチを右（OFF側）にスライドして無線機能の電源を切ってください。
- SSDの空き容量が10 GB以上あることを確認してください。空き容量が足りないと作成できません。
- 外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。
  外付けDVDドライブは、バッファロー製USBポータブルDVDドライブ（品番：DVSM-PC58U2Vシリーズまたは DVSM-PS58U2シリーズ）のご使用をお勧めします。
  上記以外のDVDドライブを使ってDL（2層）のディスクをお使いになる場合はDVDドライブがDL対応であることをご確認ください。
  動作確認済みのDVDドライブの最新情報については、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
  http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

リカバリーディスクを作成する

重 要

- DVD-R 8倍速で作成した場合の所要時間は約1時間です（所要時間は、書き込み速度やシステム設定、使用するディスクにより変動します）。
  時間に余裕を持って作成してください。
- リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります（約10分）。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、Windowsを再起動し、最初からやり直して作成してください。
  ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。中断したディスクと同じ種類の未使用の新しいディスクを用意してください。
- 作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。
- 作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
- リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
  - Windowsの終了や再起動
  - スリープ状態 / 休止状態機能の使用
  - 外付けDVDドライブの取り外し

1 ACアダプターを接続する。
- DVDにリカバリーを作成する場合、外付けDVDドライブ（別売り）を本機に接続してください。接続のしかたについては、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

2 管理者のユーザーアカウントでサインインする。

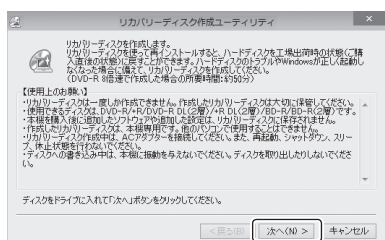
ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効に設定している場合は、次の手順で無効にしてください。

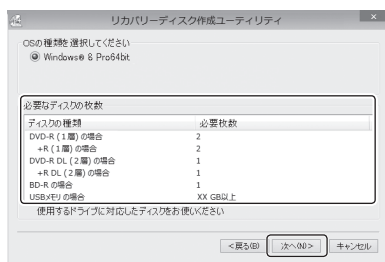
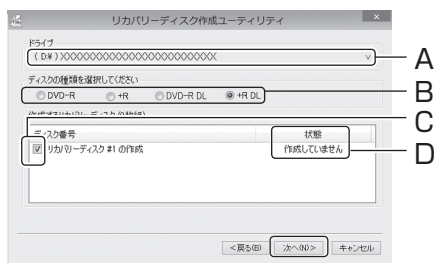
① デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックして をクリックする。
② ［ピークシフト制御を有効にする］をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。

3 未使用のディスクまたはUSBメモリーをセットする。

4 （スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

5 画面の注意事項をよく読み、[次へ]をクリックする。

（画面は一例です）

6 画面に表示されたディスクの必要枚数を準備して[次へ]をクリックする。

7 作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、[次へ]をクリックする。

（画面は一例です）

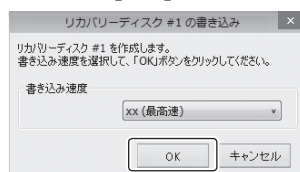
A：使用するDVDドライブまたはUSBメモリーを選びます。

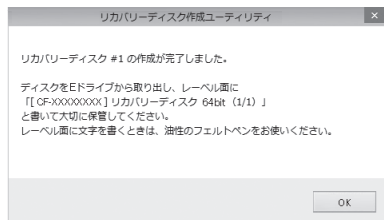
B：DVDにリカバリーする場合、使用するディスクの種類をクリックします。
ディスクの種類を間違うと、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。

C：作成するリカバリーディスクの枚数またはUSBメモリーの必要容量が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。

D：作成途中で終了したときなどやり直す場合は、[状態]に現在の作成状況が表示されます。
- [完了しました]と表示されている場合：該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
- [失敗の記録があります]と表示されている場合：
前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク#1の書き込み」画面が表示されます。

8 DVDにリカバリーする場合、書き込み速度を選び、[OK]をクリックする。

- ディスクの作成準備やディスクのチェックにそれぞれ10分～20分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込みが始まり、作成しているディスクの番号と作成状況が画面に表示されます。そのままお待ちください。
外付けDVDドライブを取り外したり振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 書き込みを中断したり、キャンセルしたりした場合は、同じ種類の未使用のディスクを使って再度作成してください。

9 DVDにリカバリーする場合、「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。

- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
  - ディスクの名前：リカバリーディスク
  - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」、「1枚中の1枚目」や「1/1枚」など、何番目のディスクかわかる内容を記入してください。必要枚数はモデルによって異なります。
  - 本機の品番：「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面 または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字です。

10 DVDにリカバリーする場合、[OK]をクリックする。

- ディスクのセットを促す画面が表示されたら、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして[OK]をクリックします。「リカバリーディスク#... の書き込み」画面で[OK]をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。
  - 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と同じ種類のディスクを使用してください。
- 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面が表示された場合は、手順11に進んでください。（2枚目以降のディスクを作成する必要はありません）

11 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

リカバリーディスクのQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない	**管理者のユーザーアカウントでWindowsにサインインし直してください。** 標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでもリカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。
	別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。 リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。
	SSDの空き容量を確認してください。 リカバリーディスクを作成するには、SSDに約10 GBの空き容量が必要です。
	「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。（➡26ページ） SSD内にあるリカバリー領域が削除されていたり、SSDに何らかの問題が発生している場合があります。
	リカバリーディスクの作成が完了している場合があります。 作成済みか確認するには、PC情報ビューアーを起動し、[PC使用状況]の[リカバリーディスク作成]をご覧ください。[作成済み]と表示されている場合は作成が完了しています。Windowsを再インストールするまでリカバリーディスク作成ユーティリティを使うことはできません。
リカバリーディスクの作成に失敗した	**動作確認済み（推奨）のディスクがセットされていることを確認してください。** 動作確認済み（推奨）のディスクについては、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。 推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
	ディスクが正しくセットされているか確認してください。 外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
	レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。 • 汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。 • 変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。

エラーメッセージ一覧

リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で [OK] をクリックし、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

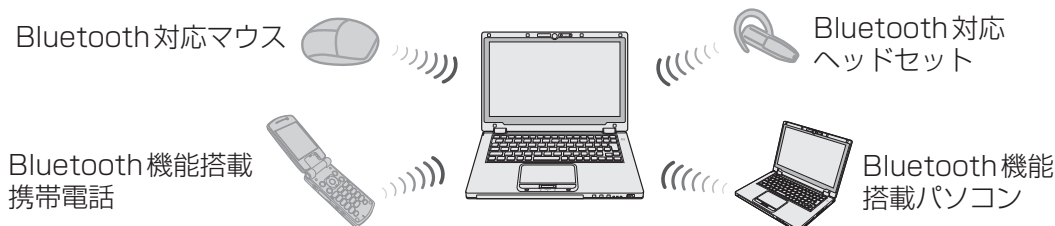
<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>対 処</th></tr>
<tr><td>リカバリー領域の読み込みに失敗しました</td><td>SSD 内にあるリカバリー領域が削除されています。または、SSD に何らかの問題が発生しています。
• Windows を再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。
再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。
リカバリー領域の確認方法
① スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリックし、[コンピューター] を右クリックする。
② [コンピューターの管理] をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
③ [ディスクの管理] をクリックし、[回復パーティション] が表示されていることを確認する。
2つ目の [回復パーティション] がリカバリー領域です。
<table><tr><td>回復パーティション</td><td>EFIシステムパーティション</td><td>（C:）</td><td>回復パーティション</td></tr></table>
上記と異なる SSD 構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。
• SSD 内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティで [HDD xxxGB]（ハードディスク）の診断を行ってください。
（➡『取扱説明書 活用ガイド』「ハードウェアを診断する」）</td></tr>
<tr><td>イメージファイルの作成に失敗しました</td><td>SSD 内にあるリカバリー領域が壊れています。
• 上記の「リカバリー領域の確認方法」に従って、リカバリー領域を確認してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込みに失敗しました</td><td>書き込みに失敗しています。
• ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。
• ディスクの書き込み中は、外付け DVD ドライブを移動しないでください。</td></tr>
<tr><td>標準デュアル チャネル PCI IDE コントローラの取り外し中にエラーが発生しました</td><td>リカバリーディスクの作成中にディスクを取り出そうとした可能性があります。
• ディスクが正しくセットされていることを確認し、やり直してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込み中に DVD ドライブが取り外されました</td><td>リカバリーディスクの作成中に外付け DVD ドライブを取り外した可能性があります。</td></tr>
<tr><td>ディスクの書き込み中に USB ドライブが取り外されました</td><td>リカバリーディスクの作成中に USB メモリーのドライブ文字を変更した可能性があります。
または、USB メモリーを取り外した可能性があります。</td></tr>
</table>

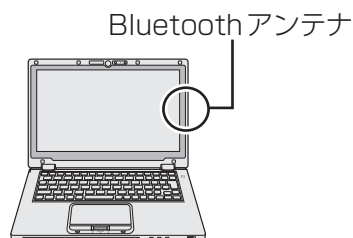
Bluetoothについて

Bluetoothとは、ケーブルを接続せずに他のBluetooth 機器（パソコン、携帯電話、ヘッドセット、マウス、アクセスポイントなど）とデータを交換する無線通信技術です。対応のマウスなどを使えば、ケーブルを接続することなく使用できます。

Bluetooth機器の登録方法や接続／切断の方法は、Bluetoothユーティリティユーザーズガイドをご覧ください。

● **ユーザーズガイドの見方**

（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）- [Bluetooth] - [Bluetoothユーザーズガイド]をクリックする。

重 要

● Bluetoothアンテナを経由して通信が行われます。アンテナ部を手でふさぐなど、電波の妨げになるようなことはしないでください。

メ モ

● 通信速度や通信距離は、他のデバイスの通信送受信や設置する環境などの周辺条件によって異なります。
● 電波の性質上、通信距離が長くなるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。Bluetooth対応の機器どうしは近い距離で使用することをお勧めします。
● 電子レンジなどを使用中に、通信速度が低下する場合があります。
● 無線 LANと同時に使用すると、通信速度が低下する場合があります。

Bluetoothの電源を切り替える

Bluetoothを使用する前にBluetooth の電源を入れてください。Bluetoothの電源は無線切り替えスイッチで切り替えてください。

詳しくは、『操作マニュアル』「無線機能」の「無線機能の電源を入れる/切る」をご覧ください。

メモ

● デスクトップ画面右下の通知領域のをクリックして（Bluetooth Manager）を右クリックし、[Bluetoothオフ]をクリックすると、Bluetoothの電源はオンのまま電波だけがオフになります。

重要

● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、[無線設定]を選び Enter を押し、サブメニュー内の[Bluetooth]が[有効]に設定されていることを確認してください。
[無効]に設定していると、Bluetoothの電源を入れることはできません（初期設定は[有効]）。
（➡『取扱説明書 活用ガイド』の「セットアップユーティリティ」）

Bluetooth機器の登録、接続／切断

Bluetooth機器の登録方法や接続／切断の方法は、次の手順でBluetoothユーティリティユーザーズガイドをご覧ください。
（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）- [Bluetooth] - [Bluetoothユーザーズガイド]をクリックする。

[Bluetoothユーティリティを使ってみよう] - [操作の流れ]をクリックし、画面をスクロールして[次へ]をクリックすると、「基本設定」の説明を見ることができます。

● 新しい接続の追加やBluetoothの設定、オプション機能の設定は、デスクトップ画面右下の通知領域のをクリックして（Bluetooth Manager）を右クリックし、各メニューをクリックしてください。
● パソコンの電源を入れた後、「自動登録」の画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

メモ

● スリープまたは休止状態から復帰したとき、「TosBtMngは動作を停止しました」とメッセージが表示され、Bluetooth機器との接続が切断される場合があります。この場合は[プログラムの終了]をクリックした後、（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）- [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックして「Bluetooth設定」画面で接続し直してください。

BluetoothのQ&A

Bluetoothが使えない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、Bluetoothが使えない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをサインアウトした後、再度サインインして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、本機を再起動してください。
Bluetoothマウス使用後、タッチパッドでポインターを操作できない	（スタート画面の何もない所で右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）- [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [マウス] - [デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]にチェックマークを付けていると、Bluetoothマウスが使用圏外に離れている状態でもマウスとして認識されたままになることがあります。その場合は、タッチパッドが無効のままになります。タッチパッドをお使いになる場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]のチェックマークを外してください。

●Bluetoothが正しく動作しない場合は、PC-Diagnosticユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。操作方法は、『取扱説明書 活用ガイド』の「ハードウェアを診断する」をご覧ください。
Bluetoothがグレー表示になり診断できない場合は、無線切り替えスイッチが左側（ON側）になっていることを確認してください。右側（OFF側）になっている場合は、パソコンの電源を切り、無線切り替えスイッチを左側（ON側）にスライドしてください。その後、パソコンの電源を入れて診断をしてください。

別売り商品

品　　名	ご注文時の品番
ACアダプター※1 （電源コード付き）	CF-AA62J2CJS
ミニACアダプター	CF-AAA001AS
バッテリーパック※1※2 （シルバー）	CF-VZSU81JS（公称容量4400 mAh）
バッテリーパック※1※2 （ブラック）	CF-VZSU85JS（公称容量4400 mAh）
バッテリーチャージャー※3 （USBケーブル付き）	CF-VCBPAX11U
保護フィルム※2※4	CF-VPF24U

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

※1 パソコン本体の付属品と同等です。
※2 消耗品
※3 本機の充電用のUSB端子より給電して、バッテリーパック（CF-VZSU81JS/CF-VZSU85JS）に充電をします。
※4 パソコン本体の使用品と同等です。

パナソニックグループのショッピングサイト「My Let's 倶楽部」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「My Let's 倶楽部」のWebページ（http://club.panasonic.jp/mall/mylets/open/）をご確認ください。

動作確認済みの外付けDVDドライブについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

●本体仕様

品番	CF-AX2MEDBP CF-AX2MEMBP	CF-AX2MEEBP CF-AX2MENBP	CF-AX2MVEBP CF-AX2MVNBP
CPU	インテル® vPro™ テクノロジー採用※1		
	インテル® Core™ i7-3667U vPro™ プロセッサー		
	（インテル® スマートキャッシュ 4 MB※2、動作周波数2.00 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0利用時は最大3.20 GHz）		
チップセット	モバイルインテル® QM77 Expressチップセット		
メインメモリー	8 GB※2 DDR3L SDRAM		
空きスロット数	なし		
ビデオメモリー	最大1664 MB※2（メインメモリーと共用）※3		
グラフィックアクセラレーター	インテル® HDグラフィックス4000（CPUに内蔵）		
フラッシュメモリードライブ（SSD）※4	128 GB（Serial ATA）	256 GB（Serial ATA）	
	上記容量のうち約10 GBをリカバリー領域、約1 GBをシステム領域として使用（ユーザー使用不可）		
表示方式	11.6型ワイド（16:9）HD TFTカラー液晶（静電タッチスクリーン付き）		
内部LCD表示	1366×768ドット：約1677万色※5		
外部ディスプレイ表示※6	1024×768ドット、1280×768ドット、1280×1024ドット、1360×768ドット、1366×768ドット、1400×1050ドット、1600×900ドット、1600×1200ドット、1680×1050ドット、1920×1080ドット、1920×1200ドット：約1677万色		
本体＋外部ディスプレイ同時表示※6	1024×768ドット、1280×768ドット、1360×768ドット、1366×768ドット：約1677万色※5		
無線LAN/WiMAX	インテル® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250 無線LAN：IEEE802.11a（W52/W53/W56）/b/g/n準拠※7（➡36ページ） ：WPA2-AES/ TKIP対応、Wi-Fi準拠 WiMAX ：IEEE802.16e-2005準拠（➡36ページ）		
LAN※8	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T		
ワイヤレスWAN	搭載されていません		搭載（➡付属の『取扱説明書 ワイヤレスWAN接続ガイド』）
Bluetooth	Bluetooth仕様 v4.0（➡37ページ）		
モデム	搭載されていません		
サウンド機能	PCM音源（24ビットステレオ）、インテル® High Definition Audio準拠、モノラルスピーカー		
セキュリティチップ	TPM（TCG V1.2準拠）※9		
カードスロット	SDメモリーカードスロット※10×1スロット（SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード対応/著作権保護技術対応/UHS-I高速転送対応）		
インターフェース	USB3.0ポート×2（右側面）※11、LANコネクター（RJ-45）※8、外部ディスプレイコネクター（アナログRGB ミニDsub 15ピン）、HDMI出力端子※12、マイク入力端子（ステレオミニジャックM3（プラグインパワー対応））※13、オーディオ出力端子（ステレオミニジャックM3）		
			ドコモUIMカード（標準サイズ）
キーボード/ポインティングデバイス	OADG準拠キーボード（86キー）、キーピッチ：18 mm（横）/14.2 mm（縦）（一部キーを除く）/タッチパッド/静電タッチスクリーン		

仕様

品番		CF-AX2MEDBP CF-AX2MEMBP	CF-AX2MEEBP CF-AX2MENBP	CF-AX2MVEBP CF-AX2MVNBP
カメラ	解像度	HD 720P		
	有効画素数	最大 1280×720ピクセル		
	マイク	モノラル		
センサー	照度	搭載		
	地磁気			
	ジャイロ			
	加速度			
電源		ACアダプターまたはバッテリーパック		
ACアダプター※14		入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力：DC 16 V、2.8 A、 電源コードは100 V専用		
内蔵バッテリー （交換はできません）		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 2200 mAh/定格容量 2050 mAh		
バッテリーパック		7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 4400 mAh/定格容量 4100 mAh		
バッテリー 駆動時間※15		約９時間（バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効時）		
バッテリー 充電時間※16		約４時間（電源オン状態）/約４時間（電源オフ状態） •バッテリーパック2（内蔵バッテリー）満充電時 約２時間（電源オン状態）/約２時間（電源オフ状態）		
バッテリー残量表示 補正の所要時間		•満充電にかかる時間 バッテリーパック1・２装着時：最大約４時間 •完全放電にかかる時間 バッテリーパック1・２装着時：約３時間		
消費電力		最大約45 W※17 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：27 W　23-J-1		
外形寸法		幅288 mm × 奥行き194 mm × 高さ18 mm（突起部除く） ※タブレット状態の高さは約19 mm		
質量※18	パソコン 本体	約1.14 kg		約1.155 kg
	AC アダプター	約0.185 kg（ウォールマウントプラグ（約0.02 kg）電源コード（約0.06 kg）除く）		
使用環境条件		温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）		
OS※19		Windows® 8 Pro 64ビット 正規版（日本語版）		
Microsoft® Office Home and Business 2010		「導入済み」または「なし」を購入時に選択		

○：セットアップ済み／セットアップ不要
■：セットアップが必要
―：導入されていません

●導入済みソフトウェア

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
インターネット／ネットワーク	ホームページを見る	Microsoft® Internet Explorer 10	○
	インターネットで検索する	緑のgoo スティック	○
	ネットワークを簡単に切り替える	ネットセレクター 3	○
	IEEE802.11a設定を切り替える	無線ツールボックス	○
	Bluetooth を使って通信したり、Bluetooth 機器と接続する	Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA	○
セキュリティ	セキュリティを設定する	セキュリティ設定ユーティリティ	○
	ウイルス対策をする	マカフィー・PCセキュリティセンター	■※20
	有害サイトへのアクセスを防止する	「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版	■※21
	（内蔵セキュリティチップ（TPM）を搭載するモデルのみ）内蔵セキュリティチップ（TPM）を使って暗号化する	Infineon TPM Professional Package	■※22
PDFファイル	PDFファイルを見る	Adobe Reader	○
ファイル管理	ファイルを圧縮／解凍する	WinZip 16.5日本語版 45日体験版	■※23
バッテリー	バッテリー残量表示を補正する	バッテリー残量表示補正ユーティリティ	○
キーボード／文字入力	テンキーモードを知らせる	NumLock お知らせ	○
	Fnキーをより使いやすくする	Hotkey 設定	○
		Fn Ctrl 機能入れ換えユーティリティ	■※24
	指定したテキストの意味を表示する辞書ソフトを使う	キングソフト辞書	■※25
	タブレットモード時や、ラップトップモード時にキーボードやタッチパッドを使えなくするかどうかを設定する	HOLDモード設定ユーティリティ	○
電源プラン／省電力	電源プランの切り替えや省電力の設定をする	電源プラン拡張ユーティリティ	○
	電力を上手に使う	ピークシフト制御ユーティリティ	○
音楽／動画	音楽や動画を再生する	Microsoft® Windows® Media Player 12	○
周辺機器	外部ディスプレイをより使いやすくする	プロジェクターヘルパー	○
	USBキーボード接続時にテンキーモードに切り替える	USBキーボードヘルパー	■※26
	外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードをより使いやすくする	ディスプレイヘルパー	■※27
	プロジェクターに画面を映す	Wireless Manager mobile edition 6.0	■※28
	USB機器の充電設定をする	USB充電設定ユーティリティ	○
	カメラで写真・動画を撮影する（デスクトップ画面用）	カメラユーティリティ	○
	カメラで写真・動画を撮影する（スタート画面用）	Camera for Panasonic PC	○
	スマートフォンからのパソコン操作や、スマートフォン間でファイルをコピーする	スマートアーチ	○

仕様

こんなときに使う		アプリケーション名	お買い上げ時の状態
画面	画面表示を分割する	画面分割ユーティリティ	■※29
パソコンの設定変更／状態確認	ホームページの更新情報／バッテリーに関する情報／エラー検出などを表示する／HDMI接続を補助する	PC情報ポップアップ	○
	パソコンの使用状態を確認する	PC情報ビューアー	○
	パソコンの各種設定をする	Aptioセットアップユーティリティ	○
	ハードウェアを診断する	PC-Diagnosticユーティリティ※30	○
	ハードウェアの各種設定をしたり、アプリケーションソフトを起動したりする	Dashboard for Panasonic PC	○
リカバリーディスクの作成	リカバリー領域から再インストールできなくなったときに備えて、リカバリーディスクを作成する	リカバリーディスク作成ユーティリティ	○
廃棄や譲渡時	SSDのデータを消去する	ハードディスクデータ消去ユーティリティ※31	○
その他	DirectX 11		○
	Microsoft® .NET Framework 4.5		○
	インテル® PROSet/Wireless Software（無線LANの認証方式を拡張しています）		○
	VIP Access for Desktop（インテル® IPT用アプリケーションソフト）		○

※1　インテル® アクティブ･マネジメント･テクノロジー（インテル® AMT）の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT設定]で設定が必要です（➡『取扱説明書 活用ガイド』）。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。
インテル® アンチセフト・テクノロジーおよびインテル® IPTをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。

※2　1 MB＝1,048,576 バイト。1 GB＝1,073,741,824バイト。

※3　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。

※4　1 MB＝1,000,000バイト。1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。

※5　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。

※6　パソコン本体の外部ディスプレイコネクターは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクターです。選択可能な解像度は、外部ディスプレイによって異なります。外部ディスプレイによっては、選択可能であっても正しく表示できない解像度があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。HDMI対応ディスプレイを接続した場合、出力可能な最大解像度などの表示スペックは、接続機器の仕様により異なります。詳しくは接続機器の仕様をご確認ください。

※7　IEEE802.11aを使用して本機と通信するには、W52/W53/W56のいずれかに対応した無線LANアクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線LANアクセスポイントが必要です。また、本機および無線LANアクセスポイントの暗号化設定をAESに設定する必要があります。詳しくは無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。

※8　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。

※9　お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをセットアップする必要があります（➡『操作マニュアル』「セキュリティ」の「データを保護・暗号化する」）。

※10 容量2GBまでの当社製SDメモリーカード、容量32GBまでの当社製SDHCメモリーカード、容量64GBまでの当社製SDXCメモリーカードの動作を確認済み。
すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。

※11 USB1.1/2.0/3.0対応。USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

※12 HDMI対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

※13 コンデンサー型マイクロホンをお使いください。
※14 本製品はAC100 V対応の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡5ページ）
20-J-1
※15「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約８割になります。
※16 バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効（電源オン／オフ）時の充電時間は約５時間（ACアダプターを使用した場合）。バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
※17 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.5 Wの電力を消費します（ただし、ピークシフト制御期間中は約１ W）。スリープ状態／休止状態でのバッテリー残量保持期間は、「電源を入れる／切る」をご覧ください（➡『取扱説明書 活用ガイド』）。
ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.3 Wの電力を消費します。
※18 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※19 お買い上げ時にインストールされているOS、SSDリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールしたOSのみサポートします。
※20 デスクトップの「マカフィーでPCのセキュリティ対策をする」をダブルクリックしてセットアップしてください。ウイルススキャン、サイトアドバイザプラス（安全なウェブ検索）機能のみが搭載されています。その他の機能はインターネットからダウンロードしてご利用いただけます。
ご利用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録をすると、DAT（ウイルス定義ファイル）のアップデートサービスやその他ユーザーサポートがご利用いただけます。90日の試用期間終了後、引き続きご利用になる場合は、表示されたメッセージに従って、有償契約をお申し込みください。
※21 デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
※22 お使いになるにはセットアップが必要です（➡『操作マニュアル』「セキュリティ」の「データを保護・暗号化する」）。
※23 スタート画面の「WinZipのセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。期間限定の試用版を使うことができます。
※24「C:¥util¥setfnctrl」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。
※25 スタート画面の「キングソフト辞書のセットアップ」をダブルクリックしてセットアップしてください。
※26 詳しくは『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を接続する」をご覧ください。
※27「C:¥util¥disphelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。
※28 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト。当社製プロジェクター TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT/PT-FW100NT/PT-F100NT/PT-F200NT/PT-F300NT/PT-FW300NT/PT-LB51NT/PT-LB75NT/PT-LB80NT/PT-LB90NT/PT-LW80NT/PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-F300/PT-FW300/PT-FW430/PT-FX400と無線LAN接続または有線LAN接続するときに使います。PT-DZ570/PT-DW530/PT-DX500/PT-FW430/PT-FX400は別途ワイヤレスモジュール（別売り）が必要です。
デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックしてセットアップしてください。
詳しくは『操作マニュアル』「周辺機器」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。
※29「C:¥util¥scrpart」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックしてセットアップしてください。詳しくは『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「画面表示を分割する」をご覧ください。
※30 起動方法は「ハードウェアを診断する」（➡『取扱説明書 活用ガイド』）をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
※31 リカバリーディスクから実行するユーティリティです。

仕様

●無線 LAN

項目		内容
データ転送速度（規格値）※32		IEEE802.11a：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20MHz時：6/13/19/26/39/52/58/65/78/104/117/130 Mbps 20MHz、Short GI有効時：7/14/21/28/43/57/65/72/86/115/130/150 Mbps 40MHz時：13/27/40/54/81/108/121/135/162/216/243/270 Mbps 40MHz、Short GI有効時：15/30/45/60/90/120/135/150/180/240/270/300 Mbps
準拠規格		ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11n※33（無線 LAN標準プロトコル）
伝送方式		OFDM 方式、DS SS方式
有効距離※34		IEEE802.11a：見通し約30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード	IEEE802.11a/n：36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n：1 ～ 13チャンネル
	ad hoc通信モード	IEEE802.11b/g：1 ～ 11 チャンネル
RF周波数帯域		2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz、5.47 GHz ～ 5.725 GHz）※35

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

※32 無線 LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※33 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

※34 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

※35 5.2GHz/5.3GHz帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。W52/W53をご使用で無線 LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。5.47GHz ～ 5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

●WiMAX

項目	内容
データ転送速度※36	受信最大　28 Mbps（ベストエフォート方式） 送信最大　8 Mbps（ベストエフォート方式）
準拠規格	IEEE802.16e-2005
伝送方式	OFDMA方式
送信有効距離※37	1 km ～ 3 km
RF周波数帯域	2.5 GHz帯域（2595 MHz ～ 2625 MHz）

※36 受信時および送信時の最大通信速度として表示している数値は、実際の通信速度を示すものではありません（搭載モジュールの仕様の値）。

※37 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

●Bluetooth

規格	Bluetooth v4.0	
	Classic	Low Energy
転送速度	1 Mbps ～ 3 Mbps（規定値）	1 Mbps（規定値）
伝送方式	FHSS方式	
使用無線チャンネル	1 ～ 79チャンネル	0 ～ 39チャンネル
RF周波数方式	2.402 GHz ～ 2.48 GHz	
対応プロファイル	• A2DP（SinkおよびSource） • BIP（ImagePushおよびRemCam） • FAX（DT） • HFP（AG） • HSP（AG） • OPP（ClientおよびServer） • SPP（DevAおよびDevB） • AVRCP（Target） • DUN（DT） • FTP（ClientおよびServer） • HCRP（Client） • HID（Host） • PAN（GroupおよびUser） • HDP	• PXP • FMP • TIP

電源プラン一覧

電源プランの名前	省電力効果のレベル （●の数が多いほど省電力の効果があります）	特徴 工場出荷時の設定でお使いになった場合の省電力レベルや特徴を説明しています。省電力効果のレベルは動作環境などにより変動します。	利用シーン
パナソニックの電源管理（省電力）	●●●●●	ACアダプター接続時もバッテリーで使用時も、工場出荷時に用意されている電源プランの中で最も消費電力を節約します。	パソコンの処理速度を抑えても、消費電力を節約したいときに適しています。
パナソニックの電源管理（放熱優先）	●●●●	パソコンの処理速度を抑えて、冷却ファンを高速に回転させることで本体の発熱を抑えます。バッテリーで本機を使用しているときは、バッテリーの駆動時間が長くなります。	使用中に本体が熱いと感じたとき（発熱を下げたいとき）に適しています。
パナソニックの電源管理（モバイル）	●●●	バッテリーで本機を使用しているときは消費電力を節約します。ACアダプターを接続すると、パソコンの処理速度を優先します。	出張や外出などで、パソコンを持ち歩くことが多いときに適しています。
省電力	●●●	パフォーマンスを抑えて消費電力を節約します。 バッテリーの駆動時間を長くすることができます。	アプリケーションソフトや周辺機器をあまり使わないときには適しています。
パナソニックの電源管理（標準）	●●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。工場出荷時は、この電源プランに設定されています。	通常の使用時に適しています。
バランス	●	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。 [パナソニックの電源管理（標準）]とは、[ワイヤレスアダプタの設定]などが異なります。	通常の使用時に適しています。
パナソニックの電源管理（プレゼンテーション）	●	操作をしない状態が続いても本体やディスプレイの電源が切れず、スクリーンセーバーも起動しない設定です。また、冷却ファンの回転を低速に設定し、冷却ファンの音を小さくしています。	会議などでプレゼンテーションを行うときに適しています。
高パフォーマンス	省電力の効果なし	パソコンの処理速度を優先します。消費電力は多くなります。	アプリケーションソフトや周辺機器を頻繁に使うときに適しています。

電源プランを切り替える

● ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効にし、[電源プランと連動する]にチェックマークを付けている場合：
①デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックし、（ピークシフト制御ユーティリティのアイコン）をクリックする。
（アイコンの形状はピークシフト制御の状況によって異なります。）
②[その他]をクリックし、[電源プランと連動する]で設定したい電源プランをクリックする。
③[OK]をクリックする。

● ピークシフト制御ユーティリティの[電源プランと連動する]にチェックマークを付けていない場合：
①デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックして をクリックする。
②表示されたメニューから、設定したい電源プランをクリックする。
③電源プランの変更内容を確認し、[OK]をクリックする。

電源プランの詳細設定の変更方法などについては、『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾書

第1条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のSSD、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第2条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第3条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした1回に限定されます。
第4条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン1台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第5条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第6条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第7条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第8条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第9条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第10条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使い方・お手入れなどは…

■「お客様ご相談センター」へご相談ください

修理は…

■「マイレッツ倶楽部修理受付デスク」へ
ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

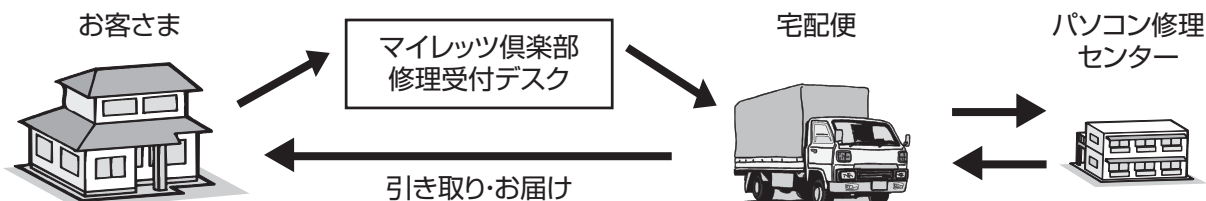
販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

●海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
なお、当社では海外での修理サポートを一部の地域（アメリカ、ヨーロッパの25か国）で実施しております。本サービスを利用される場合、出国前に下記URLで詳細を確認し、事前に登録をお願いいたします。
ただし、マイレッツ倶楽部でカスタマイズを行ったモデルは、海外修理サービス対象外となります。
http://askpc.panasonic.co.jp/r/global/index.html

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『取扱説明書 活用ガイド』の「このパソコンにトラブルがあったときは」および画面で見る『困ったときのQ&A』に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、マイレッツ倶楽部修理受付デスクへご連絡ください。
本製品は、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了後にお手元までお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

付属の『修理依頼書』に依頼内容をご記入のうえ、修理されるパソコンに添付してください。
『修理依頼書』がない場合はお買い上げ日と次の内容をご連絡ください。
●製品名　　　パーソナルコンピューター
●品　番　　　CF-
●故障の内容（できるだけ具体的に）
●SSD内のデータのバックアップおよびそのデータの消去状況
●SSDの初期化への同意
●有償修理のお客さまへ（無料修理のお客さまは不要です）：修理限度額の有無
●WiMAX搭載モデルをお使いのお客さまへ：WiMAXのご契約状況とWiMAX通信サービス提供会社への連絡状況

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってマイレッツ倶楽部修理受付デスクが修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、マイレッツ倶楽部修理受付デスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。**
保証期間：お買い上げ日から本体1年間［ただし、バッテリーパックは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。］

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
送　料	修理品を引き取り、お届けする費用 引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

お問い合わせの際は、機種品番をお伝えください

機種品番は本体底面（Panasonicロゴマークの近く）に記載されています。

下の欄にあらかじめ控えておくと便利です。

C	F	–								

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル 携帯・PHS OK　0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は
「186-0120-873029」におかけください
（はじめに「186」をダイヤル）。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

ＦＡＸ　**(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※ 買い物相談、商品のご注文、配送手続き、支払い方法などに関するお問い合わせ先は下記のとおりです。

マイレッツ倶楽部カスタマーデスク

電話番号　**03-5781-4064**

営業時間　10:00～18:00

（土日祝日および年末年始、お盆休みを除く）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は………………

マイレッツ倶楽部修理受付デスク

電話番号　**06-6904-6571**

受付時間：365日　9時～20時

（2012年8月現在）

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『取扱説明書 活用ガイド』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。

●パナソニックのWebページ
（http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/data_delete_home.html）

●パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））

家庭用パソコンのリサイクルについて
使用済みになったパソコンを廃棄するときは、下記 Webページをご覧ください。
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/home.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	• お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	SSD（フラッシュメモリードライブ） LCD（液晶ディスプレイ） キーボード ACアダプター リチウム電池 ファン 内蔵バッテリー	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約 5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！ エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/

携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、
CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニック パソコンサポート総合サイト

http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

パナソニックパソコンお客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-873029**（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は
「186-0120-873029」におかけください
（はじめに「186」をダイヤル）。
・上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

FAX **(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※ 買い物相談、商品のご注文、配送手続き、支払い方法などに関するお問い合わせ先は下記のとおりです。

マイレッツ倶楽部カスタマーデスク

電話番号 **03-5781-4064**

営業時間 10:00～18:00
（土日祝日および年末年始、お盆休みを除く）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

マイレッツ倶楽部 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/mall/mylets/open/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

マイレッツ倶楽部修理受付デスク

電話番号 **06-6904-6571**

受付時間: 365日 9時～20時

・有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0912-0
DFQW1394ZA

Printed in Japan